



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1998～99年度 会長賞

国際ロータリークラブ会長 ジェームスL.レイシー

ロータリーの綱領



ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリー雑誌月間

第551回 平成11年 4月23日(金)

〔本日のプログラム〕

- | | |
|-------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「我等の生業」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 点 | 鐘 |

次回予告

★ 4月30日(金)

特別休会

★ 5月7日(金)

5月セレモニー

会員卓話

正岡 文郁君

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会長	加藤 仙之
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	福井 輝文
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	吉田康一郎
	☎880-0212	会計	恒吉 正志
	☎及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	垂水 敏雄

第 5 5 0 回例会記録 (1999. 4. 16)

☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

皆さん今日は、4月に入りまして観桜会、先週は夜間例会と夜の例会が続きました、1999～2000年度のための地区協議会の出席者の確認をいたしました、また1999～2000年度会長エレクト研修セミナーも開催されて、福井会長エレクトも出席されております。国際ロータリー第2730地区も次年度への動きが活発になつていましてと言う事は、いま私年度も終わりが近づいたのだとの思いがいたしますが過去9ヶ月間ロータリアンとしての知識も浅く会長というものが、どのようなリーダーシップをとっていけば良いのか、かいかもく解らないまま1年が近づいて来たようです。会長の時間での話の内容が今更ながら、的外れのような気がしてなりません汗顔のいたりです。後2ヶ月間の例会運営になりましたが全力投球で行きたいと思っています。

1999～2000年度のための地区協議会出席についてであります、先週の例会で吉田幹事から指定出席者の発表があり、一応15名で登録をいたしました。福井次期会長から、霧島で1泊して会員の親睦を図りたいとのお話がありましたので、皆さん全員のご参加をお願い致します。

☆幹事報告

幹事 吉田 康一郎 君

例会休会通知

- ① 4月29日(木)は「みどりの日」のため、休会 宮崎中央RC
- ② 4月30日(金)は特別休会 宮崎西 RC
- ③ 5月4日(火)は「国民の祝日」の為休会 宮崎 RC
- ④ 5月3日(月)は「憲法記念日」の為休会 宮崎南RC
宮崎東RC
- ⑤ 5月5日(水)は「子供の日」の為、休会 宮崎東RC

☆出席報告

委員長 宮原 建樹 君

会 員 数	25名
例会出席者	19名
出席率	76%
マークアップ者数	4名
修正出席率	92%
欠席者名	野村 隆司、高橋 誠

☆会計報告

委員長 恒 吉 正 志 君

皆様 今日
は観桜会の経費についてお知らせいた
します。

酒類代	¥10,384
肉類代	¥12,696
野菜代	¥4,040
炭、その他代	¥12,380

計 ¥ 39,500

以上でした。出席者は15名でしたので、1人当たり2,633円ですが、2,700円徴収させて頂き、のこりの1,000円はハッピーとさせて頂きま
す。ご了承下さい。

☆会員卓話

浜田 松太郎 君

皆様 今日は
本日は私にとりましては、約一年ぶりに
巡りきました卓話となります。

現在わが国におきます高齢化の波は、
確実に進行の止どまる処を知らず、増加
の一途を辿りつつありますが、私も命あ
る限りその一員として、やがて80才に
2差しかかろうとして居ります。

気力の衰えは如何ともし難い思いにか
られる今日この頃でございます。

而しながら、ロータリークラブの皆様
方と例会場でお会いできます事が、不思議
と内から勇気と活力が自然に湧き出で
てきます。 真実でございまして、正直申
上げて感謝の気持一杯でございます。

さて、皆様既に新聞等でご承知の事と
存じますが、赤瀬川原平著の『老人力』
につきまして、些か所見を述べ皆様方
のご批判を仰ぎたいと考えております。

この本の始めに、「おっしゃることは
わかります」だが実はわかっていてもそ
の人の名前がどうしても忘れてどうも答
えがでてこない。

物忘れの力はどこから出るのか「ア
ーのつく溜め息等、確実に老人力がついた
証拠と説明は続きます。がその中にあ
って眠る力を探ると云うのがありますが、
眠ろうと努力すればする程、眠れないの
は事実でございます。

又、忘却力でも同じことが云えておま
すが、忘れよう忘れよと努力すればます
ます忘れないようになる。

眠ることも忘れることも努力しても到
達できない。

以上のように努力しない力がこの世の
中にどこかにある筈だ。

その反努力の力がいわゆる老人力だ。
と著者は述べて居られます。

一体この老人力とは何なのか…と問わ
れたらちょっと返答に困るわけですが、
要するに或るパワーに対する反対の力が
意外な効力を発揮するというのが、今
見直されつつある。

例えばここに一例を挙げますれば、
2死満塁のピンチにバッターボックスに
立った打者に対して監督は何と云ったで
しょうか、力の限りバットを振れでしょ
うか、 普通の監督なら、肩の力を
抜き、相手投手の球を見て落ち着いて、
打てと伝えるに違いありません。力んで
力一杯の打撃ではせいぜいピッチャーゴ
ロか内野フライが関の山ではないでしょ
うか。

この様にして考えますと、老人力とは
どこで肩の力を抜いてヒットを発すこと
ができるかが問題になりますが、概ね
ヒット間違いなしです。

この様に反対の力が反ってこの場合実
力を発揮することが多いと云われており
ますが、この点を老人力と著者は述べて
居られます。

以上、要を得ませんが、老人力の本を
読んだ感想の一端を申し述べまして、私
の卓話を終わります。

☆ 地区リーダーシップ・プラン (DLP)
について

山脇 忍 君

1998年、手続要覧より、分区代理の名称がなくなり、地区リーダーシッププランが登場し、ガバナー補佐の任命と業務が詳細に列挙されています。

このDLPの採用により、ガバナー補佐を任命し、管理業務の一部を担当させることによって、地区運営の再編成を行い、公式訪問に柔軟性を高め、クラブをできる限り迅速に支援、クラブの要望に応える援助をし、十分な研修を積んだ地区指導者を多数増やし、地区ガバナー候補者の裾野を広げ、地区内のコミュニケーションを円滑にすることによって、地区レベルとクラブ・レベルでロータリーを強化することであると述べています。

DLPにおけるガバナー補佐の主な役割は、従来の分区代理の業務にプラスして、次のようなものがあります。(一語簡)

- ・ガバナーと協力して地区目標を考案する。
- ・地区委員の選出についてガバナー・エレクトに助言する。
- ・ガバナー補佐の研修会に出席する。
- ・クラブの目標を協議し、「クラブ計画および目標の要約」を検討するために7月1日前にクラブ次期会長と会談する。
- ・定期的、少なくとも各四半期に1回は担当地域内のクラブを訪問する。
- ・公式訪問に関係するクラブ協議会でガバナーの代理を務める。
- ・担当地域のクラブ会長、幹事と定期的

に(できれば毎月、年4回以上)会合を開き、地区とRIの目標、プログラム等のついて討議する。

- ・担当クラブの進展状況をガバナーに報告する。
- ・担当区域へのガバナーの訪問のスケジュールと計画を立てる。

以上のようなもので、このDLPを導入する場合、先ずガバナー補佐の早期選出(ガバナー補佐ノミニが必要?)、ガバナー補佐の任務を遂行する為の徹底した研修(参考資料による予備研修、研修リーダーによる数回の研修会)、ガバナー補佐の活動経費、各地区委員との関係、ガバナーの公式訪問の問題等多くの事柄について充分検討し、当地区で採用することが大切です。そこで第2730地区においては、地区リーダーシッププラン導入検討委員会を設置し、検討することになりました。小生はその一委員として参加、過去2回委員会が開催されましたが、尚結論はでていません。

現在迄のところ、次年度は分区代理のままとし、図師年度より始まった程度の範囲にとどめ、次次期安満年度からガバナー補佐の名称を採用し、DLPを完全実施する方向での考え方が大勢であります。